



令和三年一月五日、習志野市役所ハミング広場において「伝統文化お琴・三絃親子教室」の生徒による新春コンサートを行いました。コロナ以前に、習志野市社会教育課のご担当者より企画案を頂き、実現したイ

**習志野市庁舎にて新春
コンサートを開催**
琴・三絃園慶友の会
会長 布施 園慶

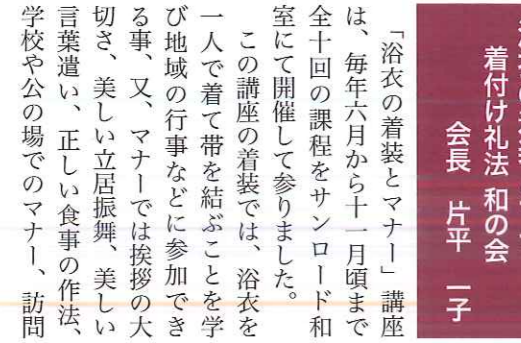
き、卒業生は茶道を続けていますとお話も伺いました。瞳の輝きから将来を担うことも達の成長を私達も嬉しく感じております。今日、世界の人々との交流が深まる中、日本の伝統文化である和の精神を大切にして、魅力ある人間形成を目指していくべく講師一同更なる精進をして参ります。



習志野市いけ花教室を開催し、今年で十八年目になります(令和二年度はコロナ禍で中止)指導の目標は、いけ花を通して日本の四季の美しさ、生命の大切さ、人を思いやる心、礼儀作法等を学び、日本の伝統文化を愛する豊かな人間性の育成です。

**習志野市いけ花教室に
携わって**
習志野市華道協会
小林 理裕

対象者は、小学一年生から中学三年生とその保護者です。会場は、サンロード津田沼五階の和室になります。指導回数は、六月から翌年一月まで月一回(土)計八回です。指導内容は伝統行事を中心に、指導内容は伝統行事を中心に、六月 開講式、いけ花の基本 七月 七夕の花をいける 八月 夏の思い出をいける 九月 お月見の花をいける 十月 文化祭の作品を発表する 十一月 市民文化祭で発表する 十二月 お正月の花をいける 一月 感謝をこめてプレゼントの花をいける です



「浴衣の着装とマナー」講座は、毎年六月から十一月頃まで全十回の課程をサンロード和室にて開催して参りました。この講座の着装では、浴衣を一人で着て帯を結ぶことを学び地域の行事などに参加できる事、又、マナーでは挨拶の大切さ、美しい立居振舞、美しい言葉遣い、正しい食事の作法、学校や公の場でのマナー、訪問

**浴衣の着装とマナー
着付け礼法 和の会**
会長 片平 一子

ら創意工夫を加えて仕上げます。子供達の想像力にはいつも驚かされます。最後に「拝見」の作法に従って全員作品を拝見し、友達作品からも学びます。子供達は充実感を味わって生き生きとした姿を見せてくれます。



「日本のわらべ唄」二曲を幼稚園生から高校生の生徒が披露いたしました。また、当日は検温・消毒・マスク着用徹底にご協力頂いたご来場の皆様にも御礼を申し上げます。演奏後は、沢山の方より温かい拍手とお褒めのお言葉を、また保護者からは、「この冬一番の心に残る体験でした。」「子どもの演奏に感動しました。」「とても嬉しい感想も頂きました。」「まだまだ閉塞感のある日々が続きますが、芸術が私達には必要不可欠であること、芸術や文化は人々の心に潤いをもたらすものであると改めて感じました次第です。今後講師一同、幅広い世代に、日本の伝統文化であるお琴・三絃を継承してまいります。

発表会風景
習志野文化ホールホワイエの

会場に、これまで学んだことを活かした個性溢れる作品や親子の連携を楽しんだ微笑ましい作品が並びます。書きそえてあるテーマを読むと作品を見る楽しさが倍増します。お客様からも励ましのお言葉をいただき自信に繋がったと思います。小さい頃から伝統文化を体験することによって、日本の良さを身につけ、世界に羽ばたいていってほしいと願っています。



と応援の心得等を学びます。子供達の豊かな感性を磨き、周囲への優しさや思いやりの心を体得して成長することを目的としております。毎年、受講者には小学生から大学生まで幅広い年齢層の方がいる一方、親子だけではなく、姉妹や祖母と学ぶ方もいます。子供さん方は、新しく学ぶ事に興味を持ち目をキラキラ輝かせ、いきいきと積極的に学ぶ姿は私達にも響き、時間の経つのも忘れてしまう程です。しかし、おおかた様が着物の知識が全くない方も多く説明するのも大変です。又、下着や小物の持ち合わせもなく、すべてこちらの貸出しで体験なさる方も少なくありません。講座終了後に子供さんの感想を聞いてみると、「一人で浴衣を着れるようになり嬉しい」

茶道和の心
習志野市茶道協会
大瀬 宗久

「学校で学べない事がすべて勉強になった」「面接の折役立たい」「学んだマナーを生活に生かし人として成長していきたい」等々ありました。又、大人の方からは、「年のわりには知らない事が多く恥ずかしい」「目からうろこでした」「子供と一緒に学べて楽しかった」「子供が成長したように思う」等々の感想をいただき、私達もやり甲斐を感じ、さらなる意欲が湧いてきました。着物は長い歴史と伝統に培われてきたもので、それに触れると落ちつき、女らしさ、優しい心をとり返し、心豊かになれると確信致します。このようなコロナ禍の中でも感染対策を充分考え開催しておりますので、是非多くのお子様にご参加いただきたいと思います。

伝統文化親子教室事業

伝統文化親子教室事業は次世代を担う子供たちに対して、民俗芸能、工芸技術、邦楽、日本舞踊、茶道、華道、囲碁、将棋などの伝統文化、生活文化及び国民娯楽に関する活動を、計画的・継続的に体験・修得できる機会を提供します。日本の歴史と伝統の中から生まれ、大切に守り伝えられてきた伝統文化等を将来にわたって確実に継承し、発展させるとともに、子供たちの豊かな人間性を涵養(かんよう)することを目的とした国の事業です。

文化庁が、全国の伝統文化関係団体を対象に募集をし、有識者審査を経て決定され、教室が開催されます。

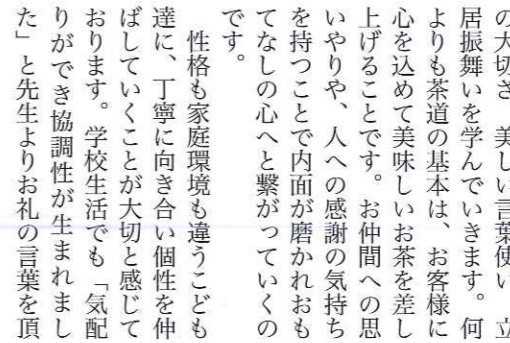
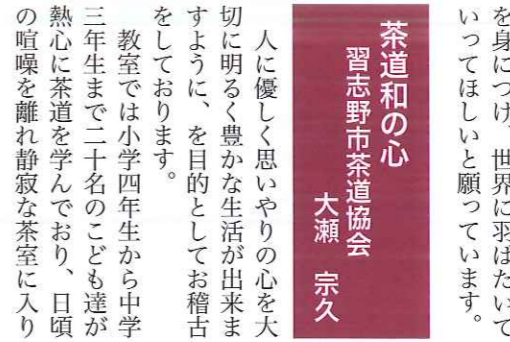
伝統文化等に関する活動を行う団体が主体となり、地域に在住する親子を参加対象として、年に一回生徒を募集し、教室が始まります。

当協会の傘下団体であります習志野市茶道協会・習志野市華道協会・お琴三絃園慶友の会・着付け礼法和の会の四団体が、長年にわたり、この事業に取り組んでいます。(事務局 青山)

発表会風景
習志野文化ホールホワイエの



発表会風景
習志野文化ホールホワイエの



習志野市いけ花教室を開催し、今年で十八年目になります(令和二年度はコロナ禍で中止)指導の目標は、いけ花を通して日本の四季の美しさ、生命の大切さ、人を思いやる心、礼儀作法等を学び、日本の伝統文化を愛する豊かな人間性の育成です。

習志野市いけ花教室を開催し、今年で十八年目になります(令和二年度はコロナ禍で中止)指導の目標は、いけ花を通して日本の四季の美しさ、生命の大切さ、人を思いやる心、礼儀作法等を学び、日本の伝統文化を愛する豊かな人間性の育成です。

習志野市いけ花教室を開催し、今年で十八年目になります(令和二年度はコロナ禍で中止)指導の目標は、いけ花を通して日本の四季の美しさ、生命の大切さ、人を思いやる心、礼儀作法等を学び、日本の伝統文化を愛する豊かな人間性の育成です。

習志野市いけ花教室を開催し、今年で十八年目になります(令和二年度はコロナ禍で中止)指導の目標は、いけ花を通して日本の四季の美しさ、生命の大切さ、人を思いやる心、礼儀作法等を学び、日本の伝統文化を愛する豊かな人間性の育成です。

習志野市いけ花教室を開催し、今年で十八年目になります(令和二年度はコロナ禍で中止)指導の目標は、いけ花を通して日本の四季の美しさ、生命の大切さ、人を思いやる心、礼儀作法等を学び、日本の伝統文化を愛する豊かな人間性の育成です。

習志野市いけ花教室を開催し、今年で十八年目になります(令和二年度はコロナ禍で中止)指導の目標は、いけ花を通して日本の四季の美しさ、生命の大切さ、人を思いやる心、礼儀作法等を学び、日本の伝統文化を愛する豊かな人間性の育成です。

習志野市いけ花教室を開催し、今年で十八年目になります(令和二年度はコロナ禍で中止)指導の目標は、いけ花を通して日本の四季の美しさ、生命の大切さ、人を思いやる心、礼儀作法等を学び、日本の伝統文化を愛する豊かな人間性の育成です。

習志野市いけ花教室を開催し、今年で十八年目になります(令和二年度はコロナ禍で中止)指導の目標は、いけ花を通して日本の四季の美しさ、生命の大切さ、人を思いやる心、礼儀作法等を学び、日本の伝統文化を愛する豊かな人間性の育成です。